

第三セクター情報公開シート I (PDCAサイクルシート)

1 作成年月日・市所管部署

作成年月日	令和 2 年 7 月 16 日
-------	-----------------

市所管部署	石巻市 教育委員会生涯学習課
-------	----------------

2 法人名称等

法人名称	公益財団法人石巻市芸術文化振興財団
法人所在地	石巻市 成田字小塚裏畑54
設立年月日	平成 元 年 2 月 22 日
代表者職・氏名	理事長 阿部和夫

設立目的・経過	
目的	芸術文化事業を展開することにより、広く芸術文化及び地域社会の発展に寄与する。
経過	H1 法人設立、市民会館・明芳館・友心館を管理受託 H 8 文化センターを管理受託 H 1 6 スポーツ振興財団と統合 H 1 8～H 2 3 市民会館、文化センターの指定管理者 H 2 6～河北総合センター、遊楽館の指定管理者

3 定款上の事業内容

- (1) 芸術文化活動の普及振興に関する事業
- (2) コミュニティ活動の促進及び支援に関する事業
- (3) 芸術文化活動及びコミュニティ活動の推進を目的とした公共施設での管理運営に関する事業
- (4) その他、目的を達成するために必要な事業
- (5)

4 出資・出捐の状況

資本金・基本財産総額	石巻市出資・出捐額	石巻市出資・出捐割合	市以外の出資・出捐者	市以外の出資・出捐額	市以外の出資・出捐割合
101,115 千円	100,000 千円	98.9 %	個人	1,000 千円	1.0 %
			個人	50 千円	0.0 %
				千円	0.0 %

※出資額が多い順に上位3者（個人は「個人」と表記）を記載

5 役員・職員の状況

(1) 役員の状況

	H29期末	H30期末	R1期末
常勤	1	1	1
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	1	1	1
非常勤	10	10	11
うち市職員	1	1	1
うち市退職者	2	2	2
計	11	11	12
うち市職員	1	1	1
うち市退職者	3	3	3

(2) 職員の状況

	H29期末	H30期末	R1期末
常勤	28	25	22
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	1	0
非常勤	1	1	1
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	1	1	1
計	29	26	23
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	1	2	1

※市職員（及び市退職者）とは、市の常勤の特別職及び一般職の者（及びそれらの職にあった者）で、法人の役職員に就任している者をいう。

6 経営理念・方針

石巻市にふさわしい芸術文化の振興と心豊かな市民生活の形成による地域社会の発展に寄与する公益財団法人の役割を果たす。
平成25年4月1日に公益財団法人として新たにスタートしたが、これまで以上に公共性・公益性が求められるとともに、さらなる効率的かつ効果的な法人運営が求められる。このような状況下、各種事業を継続的・安定的に展開できるよう常に検討を行いながら、地域や各関係機関との連携をも深め、質の高いサービス提供に努める。

第三セクター情報公開シート I (PDCAサイクルシート)

7 中期的な経営目標・事業計画

目標項目・指標	単位		平成30年度期	令和元年度期	令和2年度期	令和3年度期	令和4年度期
事業実施にかかわる総集客数	人	目標計画	7,500	6,500	6,500	10,000	13,000
		実績	6,057	5,060			
目標・指標の説明			主たる目的である芸術文化の普及振興状況を計る一つ的手段として集客数を掲げるが、令和2年度においては、新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じながらの事業運営となるため、前年比50%を下回ると見込まれる。しかし、令和3年度においては、芸術文化活動の新たな拠点となる複合文化施設の開館に伴い、芸術文化事業の更なる充実を図るため、上記の目標を設定するものである。				
目標未達の場合の要因分析			令和元年度が目標未達成であるのは、当初予定していた芸術文化事業（3公演）が新型コロナウイルス感染症対策により中止となったことが要因である。				

目標項目・指標	単位		平成30年度期	令和元年度期	令和2年度期	令和3年度期	令和4年度期
		目標計画					
		実績					
目標・指標の説明							
目標未達の場合の要因分析							

8 主要事業の成果、課題

事業名称	前期の事業成果	自己評価・事業課題	前々期の課題への取組成果
芸術文化の普及振興事業	指定管理施設及び学校等を活用し、要望に応じた公演を各所で実施してきたが、新型コロナウイルス感染症対策により当初予定していた公演（3公演）が中止となった。	震災以降、より多くのニーズに応えるための幅広い事業展開を継続して行い、芸術活動を通じ芸術文化の普及振興が図られた。	指定管理施設の特性を活かした積極的な事業展開を効率よく実施し、芸術文化振興の活動拠点としての役割を果たしていると考えられる。
事業の公共性、公益性	芸術文化活動の普及振興を図ることを目的に芸術文化事業を実施するものであり、鑑賞や体験を通じて広く芸術文化の発展に寄与するものである。		

9 市が期待する役割、市意見等（担当部署記載）

別紙のとおり。

第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表等）

団体名称	公益財団法人石巻市芸術文化振興財団
------	-------------------

1 財務諸表（金額単位：千円）

貸借対照表 (B/S)	借方（科目）	平成29年度期	平成30年度期	前期増減	令和元年度期	前期増減
	流動資産	81,216	91,008	9,792	95,254	4,246
	うち 現金・預金	80,575	90,809	10,234	93,465	2,656
	固定資産	143,695	132,037	▲ 11,658	131,967	▲ 70
	(1) 基本財産	101,099	101,107	8	101,115	8
	(2) 特定資産	39,935	29,088	▲ 10,847	29,710	622
	(3) その他の固定資産	2,661	1,842	▲ 819	1,142	▲ 700
	資産の合計	224,911	223,045	▲ 1,866	227,221	4,176
	貸方（科目）	平成29年度期	平成30年度期	前期増減	令和元年度期	前期増減
	流動負債	19,022	21,531	2,509	26,584	5,053
	うち 短期借入金	0	0	0	0	0
	固定負債	19,935	19,038	▲ 897	19,660	622
	うち 長期借入金	0	0	0	0	0
	負債合計	38,957	40,569	1,612	46,244	5,675
	正味財産	185,954	182,476	▲ 3,478	180,977	▲ 1,499
	指定正味財産	101,099	101,107	8	101,115	8
	うち 基本財産への充当額	101,099	101,107	8	101,115	8
	うち 特定資産への充当額	0	0	0	0	0
一般正味財産	84,855	81,369	▲ 3,486	79,862	▲ 1,507	
うち 基本財産への充当額	0	0	0	0	0	
うち 特定資産への充当額	20,000	10,049	▲ 9,951	10,049	0	
負債・正味財産の合計	224,911	223,045	▲ 1,866	227,221	4,176	

正味財産増減計算書	科目	平成29年度期	平成30年度期	前期増減	令和元年度期	前期増減
	一般正味財産増減の部	9,216	▲ 3,486	▲ 12,702	▲ 1,507	1,979
	経常増減の部	9,216	▲ 3,486	▲ 12,702	▲ 1,507	1,979
	経常収益	253,696	250,408	▲ 3,288	214,431	▲ 35,977
	経常費用	244,408	253,822	9,414	215,866	▲ 37,956
	評価損益等計（法人税）	▲ 72	▲ 72	0	▲ 72	0
	経常外増減の部	0	0	0	0	0
	経常外収益			0		0
	経常外費用			0		0
	一般正味財産期首残高	75,639	84,855	9,216	81,369	▲ 3,486
	一般正味財産期末残高	84,855	81,369	▲ 3,486	79,862	▲ 1,507
	指定正味財産増減の部	8	8	0	8	0
	指定正味財産増減額	8	8	0	8	0
	指定正味財産期首残高	101,091	101,099	8	101,107	8
	指定正味財産期末残高	101,099	101,107	8	101,115	8
	正味財産期末残高	185,954	182,476	▲ 3,478	180,977	▲ 1,499

(※) 負の数の場合は、マイナス記号（-）を付けて入力すること。

※行については、適宜、追加・削除、区分修正可。ただし、設定した計算式に影響を与えないこと。
 ※財務諸表を添付すること。

第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表等）

区分		平成29年度期	平成30年度期	前期増減	令和元年度期	前期増減
キャッシュ・フロー計算書（C/S）	事業活動によるキャッシュ・フロー	12,137	▲ 3,305	▲ 15,442	3,900	7,205
	事業活動収入計	253,278	248,175	▲ 5,103	214,431	▲ 33,744
	事業活動支出計	▲ 241,141	▲ 251,480	▲ 10,339	▲ 210,531	40,949
				0		0
				0		0
				0		0
	投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 5,523	10,588	16,111	▲ 622	▲ 11,210
	投資活動収入計	417	12,184	11,767	0	▲ 12,184
	投資活動支出計	▲ 5,940	▲ 1,596	4,344	▲ 622	974
				0		0
				0		0
				0		0
	財務活動によるキャッシュ・フロー	0	0	0	0	0
				0		0
				0		0
				0		0
	現金及び現金同等物に係る換算差額			0		0
	現金及び現金同等物の増減額	6,614	7,283	669	3,278	▲ 4,005
現金及び現金同等物期首残高	55,580	62,194	6,614	69,477	7,283	
現金及び現金同等物期末残高	62,194	69,477	7,283	72,755	3,278	

（※1）支出は、マイナス記号（-）を付けて入力すること。

（※2）負の数の場合は、マイナス記号（-）を付けて入力すること。

2 市による財政・金融支援等（金額単位：千円）

区分		平成29年度期	平成30年度期	前期増減	令和元年度期	前期増減
補助金（交付金・助成金・負担金）		0	0	0	0	0
事業費補助金（交付金・助成金・負担金）				0		0
管理費補助金（交付金・助成金・負担金）				0		0
委託料及び指定管理料		232,096	224,704	▲ 7,392	200,290	▲ 24,414
借入金（期末残高）		0	0	0	0	0
短期借入金				0		0
長期借入金				0		0
出資・出捐（期末時）				0		0
債務保証額（期末残高）				0		0
損失補償額（期末残高）				0		0
その他の財政支援・優遇措置（税、使用料、手数料の減免等）				0		0
				0		0
				0		0

※行については、適宜、追加・削除、区分修正可。ただし、設定した計算式に影響を与えないこと。

※財務諸表を添付すること。

情報公開シートⅡ補足資料

法人名：公益財団法人石巻市芸術文化振興財団

1 貸借対照表に関する補足

(1) 総括分析

当該年度より賞与引当金(4,587千円)を流動負債に計上したことにより、負債合計額は前年度比5,675千円増額となり正味財産は前年比1,499千円減の180,977千円となったが、経営上の損益のバランスは、通年ベースを維持しており、健全な経営状況となっている。

(2) 前年度から数値が変動した科目及びその要因

項目	変動内容	変動要因
現金・預金 (流動資産)	2,656千円増	令和2年3月開催予定だった芸術文化事業(3公演)が中止となったことにより、チケット払戻し金や芸術文化事業にかかる委託料返納金等が、一時的に現金・預金に計上されたことによる。
賞与引当金 (流動負債)	4,587千円増	公益法人会計として当該年度の損益の正確性をより高めるため、当期より賞与引当金(4,587千円)を採用し計上したことによる。
一般正味財産	1,507千円減	当該年度の損益の正確性をより高めるため、当期より賞与引当金(4,587千円)を採用し負債に計上したため、減額となっている。

2 損益計算書又は正味財産増減計算書に関する補足

(1) 総括分析

入場料等収益及び芸術文化事業受託収益ともに前年度より減額しているが、この主な要因は、新型コロナウイルス感染予防のために芸術文化事業を中止し、入場料収益、事業費用がともに減額したことによるものである。

また、ささえあい拠点センター管理業務受託収益及び経常費用事業費の前年度比減額は、ささえあい拠点センター管理業務受託業務の終了によるものである。

(2) 前年度から数値が変動した科目及びその要因

項目	変動内容	変動要因
入場料等収益 (経常収益)	6,697千円減	新型コロナウイルス感染拡大防止のため芸術文化事業を中止したことによる入場料収益(▲6,697千円)の減額が主な要因である。
芸術文化事業受託収益 (経常収益)	1,952千円減	新型コロナウイルス感染拡大防止のため芸術文化事業を中止したことにより、震災復興文化芸術事業委託料を返納したため。
ささえあい拠点センター管理業務受託収益 (経常収益)	25,384千円減	ささえあい拠点センター管理業務が終了したため、その受託収益(▲25,384千円)の減額が主な要因である。
事業費 (経常費用)	36,371千円減	事業費においてはささえあい拠点センター管理業務が終了したことにより、約25,000千円の費用が減額となっており、人件費及び物件費が減額となっていることが要因である。 また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため芸術文化事業を中止としたことにより、委託費(▲16,150千円)をはじめとした費用が減額となった。なお、当期より賞与引当金繰入額(4,128千円)を計上したことにより、その費用が増額している。
一般正味財産期末残高	1,507千円減	当該年度の損益の正確性をより高めるため、当期より賞与引当金(4,587千円)を採用し負債に計上したため、正味財産が減額となった。

3 キャッシュフロー計算書に関する補足

(1) 総括分析

事業活動収入については、ささえあい拠点センター管理業務受託収入の減額、芸術文化事業の入場料収入の減額等により、前年比33,744千円減の214,431千円となった。事業活動支出については、収入減の理由と同様に、ささえあい拠点センター管理事業費の減額と新型コロナウイルス感染拡大防止のために3月開催の芸術文化事業(3公演)が中止となったことなどにより、前年比40,949千円減の210,531千円であった。

投資活動における収支は、退職給付引当資産への当期の積立分を支出に計上している。なお、現金預金としては、3,278千円増加している。

(2) 数値が変動した区分及びその要因

項目	変動内容	変動要因
事業活動収入	33,744千円減	ささえあい拠点センター管理業務受託収入の減額、芸術文化事業の入場料収入の減額等が要因である。
事業活動支出	40,949千円減	ささえあい拠点センター管理費の減額、芸術文化事業費の減額等が要因である。
投資活動	11,210千円減	前年度は、退職者への退職金支給による退職給付引当資産の取崩し、及び芸術文化事業における記念事業開催のための特定資産の取崩し等により、投資活動収支の収益が大きかったが、当期は退職給付引当資産への積立額(622千円)のみだったため、前年と比較し大きく減額した。
現金及び現金同等物の増減額	4,005千円減	投資活動の収支差額が、前年度と比較し大きく減額したことによる。

4 市による財政・金融支援等に関する補足

(1) 市からの補助金等の交付状況

補助金等の名称	補助金額(単位：円)	補助金の使途

(2) 市からの委託業務等(指定管理含む)の状況

委託業務の名称	委託料(単位：円)	委託業務の内容
震災復興文化芸術事業業務	9,756,859	震災復興文化芸術事業業務
日露交歓コンサート2019石巻公演委託業務	1,367,280	日露交歓コンサート2019石巻公演委託業務
複合文化施設プレイベント事業等企画立案業務	963,600	複合文化施設プレイベント事業等企画立案業務
河北総合センター管理運営業務、多目的ふれあい交流施設管理運営業務	188,202,000	指定管理業務

(3) 税、使用料、手数料等の減免の状況

減免されている税目等名称	減免額(単位：円)	減免理由

市が期待する役割・市意見等（別紙）

法人名：公益財団法人石巻市芸術文化振興財団

担当部署名：教育委員会生涯学習課

1 第三セクター情報公開シートⅠ（PDCAサイクルシート）に対する意見

（1）中間的な経営目的・事業計画

平成26年度期より、石巻市河北総合センター及び石巻市遊楽館の指定管理者を行いながら、芸術文化の普及振興事業を展開している。
令和元年度は目標未達成で、前期を下回る結果となったが、仮設住宅集会所等における芸術鑑賞等事業がなくなったことや、新型コロナウイルス感染症対策に伴い事業の中止による集客数の減少等によるものである。
今後は、令和3年に開館する複合文化施設の指定管理者として、広く芸術文化及び地域社会の発展に寄与していくことを期待する。

（2）主要事業の成果、課題

芸術文化の方が被災者の心の復興に資するため、平成24年度から芸術鑑賞機会の提供等の震災文化芸術事業業務を受託し、芸術文化事業の企画及び運営を効率的に展開してきた。
また、施設の指定管理と芸術文化関連事業を受託し、広く芸術文化活動の推進に寄与している。
令和3年には、文化芸術活動の拠点となる石巻市複合文化施設がオープンすることから、継続的な事業や社会情勢を的確に把握し適切な事業の企画を行い、新型コロナウイルス感染症の対策を講じながら事業展開を図る必要がある。

2 第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表等）に対する意見

（1）貸借対照表

流動資産、流動負債ともそれぞれ前年度比4,246千円、5,053千円の増額となった。これは令和元年度末の新型コロナウイルスの影響による事業の中止に伴うチケット払い戻しや委託料返納金が一時的に現金預金となり、さらにこれらが一時的に流動負債に計上されたことによるものである。正味財産の減額については、当該年度から賞与引当金を負債に計上したことによるものであるが、正しく期間損益を出すための負債であることから、おおむね健全な経営状況を示しているといえる。

(2) 損益計算書又は正味財産増減計算書

経常収益、経常費用は前年度比はそれぞれ35,977千円と37,956千円の減額であった。これは、管理を受託していた市内5ヶ所のささえあい拠点センターが令和元年度に廃止となったことによる管理費及び新型コロナウイルス感染拡大予防のための事業中止による入場料収益の減額と賞与引当金を負債に計上したことが要因である。

ささえあい拠点センターの廃止は震災復興の兆しでもあり、管理費の減額はやむを得ないが、疫病の発生については不測の事態でもあり、今後の経営状況への影響が懸念される。

(3) キャッシュフロー計算書

平成23年度以来、市内5ヶ所のささえあい拠点センターの管理業務を担ってきたが、平成31年度の当該センターの廃止に伴う減収と、新型コロナウイルスの影響による事業の中止に伴う入場料収入や事業費用が減額した。新型コロナウイルス感染拡大が見通せない状況下では、今後の経営状況にも大きな影響を及ぼすものと懸念されるものの、安全対策を万全とした経営に期待する。

(4) 市による財政・金融支援等

特になし。

3 法人に対し市が期待する役割等（担当部署所感）

平成元年に、芸術文化の普及と振興を図り地域社会の発展に寄与することを目的として設立した「財団法人石巻市文化振興公社」は、石巻文化センターや市民会館等の指定管理や芸術文化の発展に貢献してきた。

震災後は被災者支援や芸術文化の受託業務を行い、平成25年には公益財団法人に認定され、「公益財団法人石巻市芸術文化振興財団」となった。平成26年度から河北総合センターと遊楽館の2施設の指定管理者として、市民サービスの向上に努め、効率的な運営により安定的な経営状況を保っている。

令和3年に開館する複合文化施設の指定管理者として、30年来培ってきた芸術文化事業のノウハウを活かし、多くの市民が継続的に参加できる芸術文化事業の展開と、より公共性・公益性の高い公益法人としての効率的、安定的な運営を期待する。